



(2) 提言

①政策

人口、特に生産年齢人口の流出を防ぎ新たな生産年齢人口の流入を促します。また、ICT等の活用によって生産性向上を図ります。

②施策

【流入促進・流出防止】

生産年齢人口の中心を担う子育て世代に対し、子育てしやすい、鹿児島で子育てをしたいと思わせるための環境整備を下記2つの取り組みを中心に行います。

1.都市部の魅力に負けない鹿児島の創造

高校卒業後の進学や就職により、本県から流出する原因に「学びの機会」が挙げられます。学びとは、進学による学びと、やりたい仕事を通しての学びとに大別されます。この「学びの機会」を鹿児島で得ることができれば、県外への流出を防ぐことができると考えます。

2.子育ての街“かごしま”の創造

子どもを儲けたいと考えても、経済的な理由から断念する、または結婚自体を躊躇う世代が増加している現状は、本県の将来を考えるにあたり喫緊の課題です。

この世に生を受け誕生した子供たちはもちろん、子供を育てることができるあらゆる対策を検討し、策を講じる事業を推進する必要があります。

【生産性向上】

事務作業等に代表される生産性の低い作業をICTの活用で自動化し、空いた時間を生産性の高い事業に振り向けることで生産性向上を図ります。